



軽井沢町定例記者会見

令和8年1月29日(木) 15時30分から

軽井沢まちづくりビジョン

政策目標の5本柱

政策目標1 100億円超の新庁舎等整備計画は、凍結して見直します

政策目標2 自然環境とまちなみを守り、破壊された自然の再生に取り組みます

政策目標3 情報公開を徹底し、住民との信頼できるコミュニケーションを実現します

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

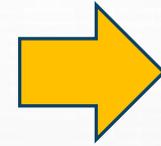
政策目標5 滞在型の持続可能な文化都市へ転換し、産業・農業の振興もすすめます

政策目標1 100億円超の新庁舎等整備計画は、凍結して見直します

- ▶ 重点政策1 現在の計画はいったん凍結して、財源・内容・時期について総合的に見直します

見直し方針の策定
基本方針の策定
基本計画の策定

庁舎・公民館機能
一体化案で整備
令和6年11月決定

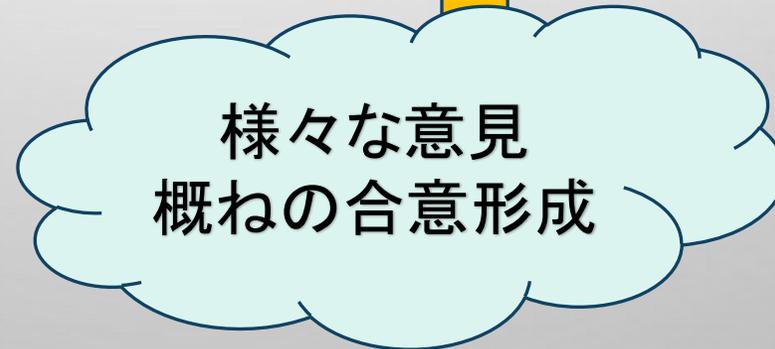


基本設計

- ・民有地の取得
 - ・健全な財政維持を確認
- 令和8年3月完了見込み

- ▶ 重点政策2 住民の意見を重視してすすめます

庁舎改築周辺整備事業推進委員会の開催
パブリックコメントの実施
各区を回り住民説明会を開催
住民との対話の場の開催



意見を集約し
計画に反映

実施設計
令和9年3月
完了見込み

令和9年度
工事着工予定

政策目標2 自然環境とまちなみを守り、破壊された自然の再生に取り組みます

- ▶ **重点政策1** ゾーンごとの用途地域指定を見直し、自然保護対策要綱順守を徹底します
 - 用途地域の見直し 令和7年3月「軽井沢の自然環境と景観を守るための宣言」
用途地域等見直し検討委員会を設置
 - 自然保護対策要綱の見直し
 - 自然保護審議会の中に検討部会を設置 3Dを活用した解説動画の作成
 - 改正要綱の一部を令和7年8月施行 自然保護対策要綱の概要版冊子作成
- ▶ **重点政策2** 軽井沢の植生にあった樹木を植える、自然環境の再生計画をすすめます
 - 植生学の専門人員の配置 
 - 「軽井沢 野杜の匠」養成講座を開催
 - 植生学相談会の実施
 - 樹木医相談の実施

役場庁舎・公共施設電力の
クリーンエネルギーへの転換

自然を守り環境負荷を低減
持続可能なまちづくりを推進

政策目標3 情報公開を徹底し、住民との信頼できるコミュニケーションを実現します

▶ 重点政策1 情報担当の部署を設置し、SNSを含めた情報発信を強化します

情報推進課の新設

町公式lineチャットボットの導入

審議会等の公募委員参画

町公式ホームページのリニューアル

審議会等議事録の公開

定例記者会見の実施

▶ 重点政策2 情報を迅速に伝え、防災体制の整備を進めます

総合政策課内に危機管理室を設置

町公式lineチャットボットによる防災情報の提供 避難所となる各公民館分館等にWi-Fiを設置

▶ 重点政策3 専門人材の登用やボランティア団体との連携で、町と住民との協働をすすめます

町のDXを推進するため、CDO(最高デジタル責任者)及びCDO補佐官を配置

軽井沢町DX推進宣言の表明 ソフトバンクとの自治体DX推進に関する連携協定

日本財団ボランティアセンターとボランティア活動に関する連携協定

軽井沢モデル生成AIの「Ruiza_AI」を導入

住民サービスのDX化・職員の働き方改革の一環として業務効率化

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

- ▶ 重点政策1 公共交通を整備し、子どもや高齢者も安心して移動できるようにします
渋滞対策にも取り組みます
- ▶ 重点政策2 地域と連携した医療体制を構築し、在宅医療・訪問看護の整備を
すすめます
- ▶ 重点政策3 子ども・子育て支援事業を充実させ、子どもと保護者を総合的に支援
します
- ▶ 重点政策4 小・中から高校までつながる軽井沢の魅力を活かした教育プログラム
を導入します
- ▶ 重点政策5 障がい者へのさまざまな支援を充実させます
- ▶ 重点政策6 高齢者福祉のため「木もれ陽の里」の機能を充実させます

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

- ▶ **重点政策1 公共交通を整備し、子どもや高齢者も安心して移動できるようにします
渋滞対策にも取り組みます**

オンデマンド交通「よぶのる軽井沢」の実証実験

観光シーズンにおけるタクシー供給強化に関する連携協定を締結

日本版ライドシェアを導入

軽井沢駅周辺の駐車場不足

新軽井沢町営駐車場のレイアウト変更により普通車51台分を駐車区画を増設

町営駐車場満空状況の情報公開

デマンドタクシーの実証実験

軽井沢町地域公共交通計画の策定

地域の実情に合った
実効性ある交通網再編

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

▶ 重点政策2 地域と連携した医療体制を構築し、在宅医療・訪問看護の整備をすすめます

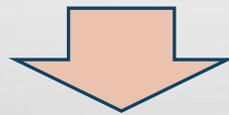
軽井沢病院の経営課題の洗い出し

民間との連携協定による医師の増員・総合診療科の充実

訪問看護24時間体制の再開

軽井沢病院の経営改善継続

在宅医療の提供体制の整備・強化



すべての住民や来訪者のセーフティーネットとして

安心安全に医療を受けられる軽井沢病院の強化

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

▶ 重点政策3 子ども・子育て支援事業を充実させ、子どもと保護者を総合的に支援します

町立保育園における使用済おむつの持ち帰り廃止

私立保育園等への支援拡充

育休退園の廃止

一時保育の利用日数制限の撤廃

給食費無償化を私立小中学校へ拡充

LD等通級指導教室の設置

教育支援センター新設

西部小学校の増築

こども家庭センターの設置運営の検討

子育て・こども・福祉 異なる課同士の協力体制の構築

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

- ▶ 重点政策4 小・中から高校までつながる軽井沢の魅力を活かした教育プログラムを導入します

小学校・中学校・高校まで繋がるよう教育委員会に
「軽井沢高校・教育魅力化推進係」を設置

軽井沢町の特性を活かした教育プログラムの導入

小学校	軽井沢ゼミの実施	表現コミュニケーション教育
中学校	「軽井沢学」の実施	
軽井沢高校	探究学習への参画	

軽井沢オーパンドアスクール(仮称)を設置予定

魅力ある教育プログラム「軽井沢モデル」の推進

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

▶ 重点政策5 障がい者へのさまざまな支援を充実させます

- 手話言語条例の制定
- 合理的配慮の社会をすすめるため、総合政策課に「共生社会推進係」を設置
- 児童発達支援センター「なないろ」の設置
- 共生社会実現推進事業の実施
「つながりラウンジ」「みんなのサロン」
- 多言語翻訳タブレット「コトバル」を窓口に配置

誰一人取り残さないまちの実現

他者を思いやり人権を尊重する寛容な社会を目指す

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

▶ 重点政策6 高齢者福祉のため「木もれ陽の里」の機能を充実させます

- 健康増進部門の運動プログラムの充実



健康寿命の延伸

高齢者のQOLや幸福度満足度の向上

政策目標5 滞在型の持続可能な文化都市へ転換し、産業・農業の振興もすすめます

▶ 重点政策1 道路・歩道・自転車道・フリーWi-Fiなどのインフラを整備します

町内各地の安心安全な道路整備

- ・ 追分1000メートル林道へ速度抑制舗装設置工事
- ・ 中部小通りと新幹線側道交差点部信号機新設

主要幹線道路の道路補修、改良工事

- ・ 発地馬取線
- ・ 借宿千ヶ滝線
- ・ 塩沢鳥井原線

災害に強い道路整備

- ・ 町道鶴溜線道路改良無電柱化工事

まちづくりの根幹である安心安全な道路整備を推進

災害や停電に強い無電柱化・ラウンドアバウトを整備

政策目標5 滞在型の持続可能な文化都市へ転換し、産業・農業の振興もすすめます

- ▶ 重点政策2 広域連携を推進し、軽井沢を起点とした滞在型の観光や長期保養ができるようにします

千曲川ワインバレー特区協議会に加入し観光連携を推進

・WINE DAYの実施 ・ワイナリーを招き試飲・即売会

しなの鉄道沿線自治体との連携を推進

安中市・富岡市と2市1町観光連携の強化

“宿泊税”を活用した長期滞在型コンテンツの醸成

ハード・ソフト両側面から環境に配慮した持続可能な軽井沢の魅力を創造

浅間ゼロカーボンコンソーシアムの立上げ

行政単独では達成が困難な

2050CO₂排出実質ゼロ

民間企業と行政が広域的に一体となり
ゼロカーボン達成を目指し活動

政策目標5 滞在型の持続可能な文化都市へ転換し、産業・農業の振興もすすめます

▶ 重点政策3 軽井沢の特色に合ったスタートアップ企業を支援します

まちづくり共創構築業務

中軽井沢エリアプラットフォームによるスタートアップ支援

官民協働による地域課題の解決・まちづくりの推進

▶ 重点政策4 遊休農地の滞在型貸農園への活用や、有機野菜のブランド化などをすすめ、農地を保全します

滞在型貸農園（クラインガルテン）の検討

有機JAS認証取得推進補助制度

▶ 重点政策5 水源を確保し、無駄のない使い方に改善します

水源の確保に向けた地下水脈調査の実施

三笠浄水場等の水道施設更新による水の安定供給

軽井沢まちづくりビジョン

政策目標の5本柱

政策目標1 100億円超の新庁舎等整備計画は、凍結して見直します

政策目標2 自然環境とまちなみを守り、破壊された自然の再生に取り組みます

政策目標3 情報公開を徹底し、住民との信頼できるコミュニケーションを実現します

政策目標4 誰もがくらしやすく、定着するまちづくりをおこないます

政策目標5 滞在型の持続可能な文化都市へ転換し、産業・農業の振興もすすめます